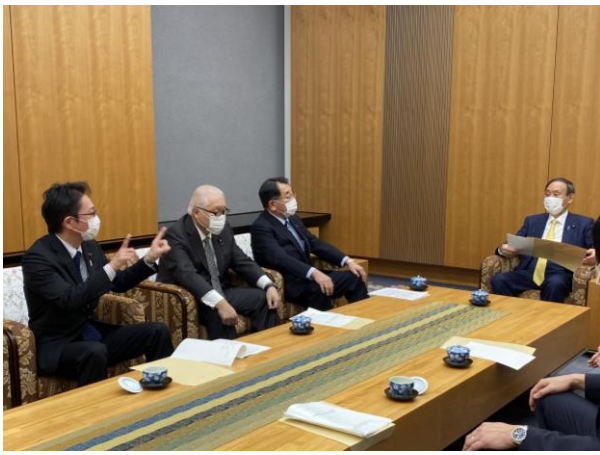


■何が問題なのか？

政権批判はいくらやってもいい。政府と課題や前提が共有されていない事が問題だ。例えば予算や実行可能性を無視した提言は机上の空論に過ぎない。海外の学術界は、コロナ対策で専門家らしい提言を続け、政府に厳しく迫っている。それは、課題や前提が共有されているからだ。それに比べ、日本学術会議のコロナ提言は極めて弱い理由は簡単だ。世界でも珍しい政府の機関であるため、独立を強調するがあまり、政治との接点すら避け唯我独尊の部分がある。独立は重要だが、それは意見の独立だ。課題や前提の独立ではない。これまで政府や経団連などから何度も改革提言が出されてきたが改革を怠ってきた。任命問題はそこから生まれている。

■日本学術会議は独立すべき

昨夏より党小委員会事務局長としてこの議論を進めていた。任命問題で議論が加速、部会PT事務局も兼務し、昨年末に独立機関と



菅義偉総理への日本学術会議改革提言とその後の首相官邸での記者取材受け



すべきことなどを骨子とする提言執筆に参画した。一年程度かけて改革が進むはずだ。

社会保障第三の道

膨らみ続ける社会保障費を前に、制度上の持続可能性に疑問を持たれる方も少なくない。細部を除けば年金は累次の改革で持続可能となった。課題は医療と介護だ。これまで給付を減らすか負担を増やすかのどちらかしかなかった。

■高齢者窓口負担問題の本質

昨年、高齢者医療の窓口負担に関する政治合意があった。従来1割負担であったものを所得200万円（単身）を境目に2割にする事を骨子としたものだ。緩和措置も盛り込まれた。ただこれは財政ひっ迫を理由としたものではな

い。子育て世代の負担減のためだ。党内では世論の動向に注目が集まったが、賛否拮抗であった。60歳以上の金融資産は全体の65%、負債を合わせれば9割を

地方で暮らすご年配層にとつては、医療や介護だけでなく、例えば普通の移動手段の確保も喫緊の課題だ。公営バスなども財源問題から廃止する自治体もある。財源問題を乗り越え運営モデルを進化させるには、テクノロジーの活用と官民連携しかない。幸いその視点で社会的課題を解決しようとする民間企業も増えてきた。これまでも様々な自治体に推進を訴えてきた。現実をしっかりと見据え、協力関係が確立できれば全力で支援し、共に令和の時代に合致した新しい地方を創っていききたい。

自治体アップデート支援

健康寿命を延ばすことが最善策だ。しかし一般的に健康を気にするのには不健康になってからだ。予防医療は十年以上前からやって

いるが、啓蒙活動の範囲を超えず、効果は限定的であった。健康な人でも健康維持の努力が直接報われる仕組みがある。スマホなどテクノロジーの活用だ。ビッグデータとAIを使い健康維持に努める人にポイント等を給付する事業者も登場した。こうした取り組みを積極的に推進する自治体も増えてきた。積極的に推進すべきだ。

超える。負担に苦しむ子育て世代の窮状を物語る数字だ。高齢者を支えているのは子育て世代だ。ただし、給付を必要とする高齢者も多い。その負担は増やせない。先の政治合意はそこの中で生まれた。

■予防医療を進化させよ

健康寿命を延ばすことが最善策だ。しかし一般的に健康を気にするのには不健康になってからだ。予防医療は十年以上前からやって



新しい社会保障を官房長官に提言

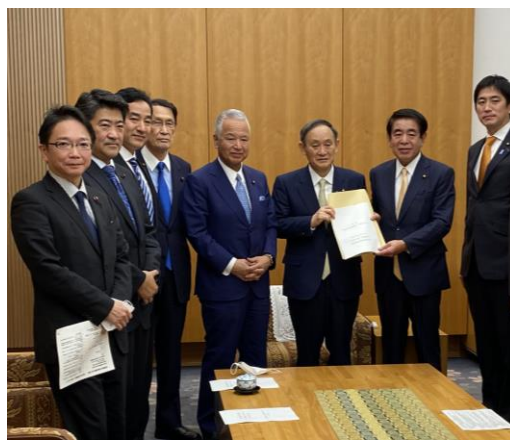


鳥インフル現場で県から説明を受ける

鳥インフルと対峙

鳥インフルで関連産業が打撃と

なっている。県にも呼びかけ野上農林大臣に感染拡大防止と産業支援などの緊急対策を強く要請した。現場で対処に当たった自治体職員や自衛隊員、更には建設業界や産業廃棄物の皆様に最大の感謝を申し上げたい。対処上の課題も見えた。改善に取り組んでいきたい。



菅義偉総理に経済安保戦略の申し入れ

経済安全保障必須

米バイデン新政権が発足したが、米中対立は構造的な問題であり、

つ各国の環境対策の本格化で資金循環とサプライチェーンが大きく変わろうとしている。各国が戦略的自律性と戦略的不可欠性を向上させる中で、日本も経済安全保障を格段に向上させなければならぬ。私が昨年最も力を注いだ分野の一つだ。党新国際秩序創造戦略本部の事務局として技術流出防止策を中心とした経済安全保障戦略の策定、関連法制の一括整備を政府に求めた。



県副知事と鳥インフル対策を野上農林大臣に要望



持続化給付金のNPO等対象化を実現

■その他

コロナ禍にあっても未来を見据える活動は必須だ。日本の豊かさの源泉、大学研究開発力再生のためファンド創設を同僚と共に実現した。他にも国際金融ハブ化、厳しさを増す安全保障環境に対処するための施策、社会課題解決を目指す事業者支援策、コロナ禍で生産調整がかかるコメ農家の支援策など、未来のための活動は続く。今後は水産政策にも本格参入する予定だ。それもすべて地元の皆さまのご厚情が活力の源泉だ。地元



野上大臣に水田対策要望



大野原豊浜の若手と意見交換



大学研究力強化の議論



宇宙資源法立法案の議論



猪ノ鼻道路開通式典



財田町の農家さんと意見交換



社会課題解決型企業大手LITALICOの長谷川社長と



経済政策の議論

大野敬太郎の活動に是非ご協力ください！

ポスター・後援会新聞・運営資金などでガッツリとサポートしたい！

ポスター 掲示や新聞配布等につき、地域でお世話頂ける方を募集中です。また会費制のForumK 正規会員を随時募集中です(入会申込書有り)。詳しくは WEB カ事務所まで。

政治や経済などに関する勉強会に参加しつつスマートにサポートしたい！

西讃地域は太宝会、中讃地域は大志会として、地域や日本のあるべき姿をご来場いただいた皆様と共に議論する会です。奮ってご入会ご参加ください。

イベント情報や政治動向、大野の視点をタイムリーに知りスパッとサポートしたい！

時事問題や政治動向を大野独自の視点でいち早く不定期で皆様にメールニュースとしてお届けしております。入退会は自由(もちろん無料)。ご関心のある方は是非お試下さい。

コロナ対策まとめサイト

<https://keitaro-ohno.com/corona>



大野敬太郎 WEB
<http://keitaro-ohno.com/>

facebook